

## 令和2年度 施設関係者評価 総評

### < 総 評 >

- ・太陽と木の温もりが感じられる園舎、そして園児数に対して基準以上の保育士の配置がなされている。そのような環境下で、子ども達が大切にされ好きな遊びを選んで集中して遊べる、という園生活の保障がなされていることを、施設を見せて頂いたりお話を伺ったりして強く感じました。
- ・園の教育・保育方針に、そのねらう姿が、子ども達の姿に具現化できるための保育士の関わりや援助、意図して取り組んでいく「課業」「子ども理解・支える」「毎日体操」「わらべうた」が明確に示されています。これは保育士が日々の保育で目指す子どもの姿がイメージしやすく、援助・支援の方法が見えてくると思います。新しい園ということで、これから築かれていくことが多いと思いますが、今現在この園で過ごしている子ども達に教育・保育方針の①～④が育まれ、ほづみの森こども園の土台となり園の伝統が生まれてくることを期待しています。
- ・乳幼児保育では「育児担当制」が組まれ、家庭で母親が育児をするようなことを園でも保育の中で大切にすることで、愛着形成や大人を信じる子を育て自己肯定感を育む保育が実践されています。近年、家庭の保育力の低下が懸念され、家庭での保育を補う点からも乳幼児期には大切にしたいことであり、保護者支援にも繋がることであると思います。
- ・保護者アンケートについては、職員の対応に対しては100%、園の教育・保育に対しては95%満足しているとの回答は素晴らしいと思います。職員の皆さんが丁寧に親子に関わり、子ども達が楽しく登園しているという姿からそう感じられているのでしょう。今後も子ども達が園が大好きと思える環境構成や保育を工夫して頂きたいと思います。
- ・人的環境として、看護師常駐の配置はとても心強いと思います。子ども達、保護者、保育士、園の職員の安心・安全の基となり、保育士が取り組みたい保育に安心して取り組むことができる良さがあると思います。
- ・職員の自己チェックについては、意識の低い項目が見られますが、資料にもありましたように、自分の保育を振り返り、今後の保育力向上のために活かしより良い保育に繋げて頂きたいと思います。
- ・子育て支援センターの「森のカフェ・コモレピ」は落ち着いた雰囲気の一部屋が用意され、親子が温かい環境下で安心して過ごせる場であると思います。保護者が職員や地域の方と談話出来る場もあり、今後の地域との繋がりを太いものにしていく良い取り組みであると感じました。
- ・公立保育所から私立の新しい園の開園ということで、保育の方法や様々なことに違いがあるのは当然のことと思います。公立を経験している保護者が今暫くは不安に感じられることが多々あるのではと予想されます。反面新しい園ということで地域からの期待は大きいとも思います。地域に根差し保護者からも地域からも信頼される園として今後のご活躍を期待しております。

令和2年11月26日

施設関係者評価委員

吉田志保子